

研究実施のお知らせ

2024年1月11日 ver.1.0

研究課題名

非結核性抗酸菌症患者増悪に関わる宿主因子の検討

研究の対象となる方

2016年8月から2027年3月の間に呼吸器臨床腫瘍学の先行研究、「呼吸器疾患克服の研究基盤としてのバイオリソースバンクの構築」に同意を頂いた方。

2019年度に「先行研究胸部CT検診受診者における余剰検体を用いたバイオリソースバンクの構築」に同意を頂いた方。

研究の目的・意義

非結核性抗酸菌症は、近年、本邦を含め、多くの先進国で有病率、罹患率が上昇してきている呼吸器感染症であり、これまでの報告では、加齢、閉経、やせ、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、気管支拡張症、側彎、漏斗胸などが非結核性抗酸菌症を発症する危険因子として報告されています。しかし、肺炎として増悪するに至る宿主因子は明らかではありません。今回の研究では、非結核性抗酸菌症患者からの血清を用いて、血清中のサイトカインと脂質代謝物の解析を行い、非結核性抗酸菌症の発症・増悪に関わる易感染性状態を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

上記の先行研究で同意を得て保管している血清検体を用いて血清中のサイトカインと脂質代謝物の解析を行います。

また、先行研究で同意を頂いた際の身長、体重と血液学的データを使用します。

本研究では、患者さんの個人を特定し得る情報（生年月日・氏名・患者ID）を取り扱うことはなく、外部に持ち出すことはありません。研究結果は学会や学術論文等で発表しますが、これら個人情報が含まれることはありません。収集したデータは外部に漏れることがないように、研究者が責任を持って管理します。

研究の期間

2024年2月29日～2029年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部呼吸器・臨床腫瘍学

幡 高次郎

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2028年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部呼吸器・臨床腫瘍学

幡 高次郎

〒693-8501 島根県塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581